

2025年度 一般選抜問題
前期C日程 2025年1月28日(火)

選 択 科 目

(数学・基礎理科・物理・化学・生物・日本史・世界史・国語)

数 学	1～ 6ページ
基礎理科	7～ 30ページ
※2科目選択して1科目の扱いとなります。	
物 理	31～ 44ページ
化 学	45～ 58ページ
生 物	59～ 75ページ
日 本 史	77～ 87ページ
世 界 史	89～102ページ
国 語	103～117ページ

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 3科目型の受験生および3科目型と2科目型を併願する受験生は上記の科目から2科目を、2科目型の受験生は、上記科目と英語から2科目を選択してください。但し受験票に記載された科目以外を受験すると0点となります。
3. 解答用紙には、「**数学**」(青色)と「**基礎理科**」(赤色)と「**数学・基礎理科以外**」(赤色)の3種類があります。
4. 試験開始後、解答用紙に受験番号と名前を必ず記入し、受験番号をマークしてください。数学以外の科目については、解答する科目を選び、科目の右にマークしてください。また解答科目欄に科目名を記入してください。正しくマークされていない場合は0点となります。
5. 解答はすべて解答用紙の解答欄にマークしてください。「**基礎理科**」の解答用紙は2科目を選択し、科目ごとに決められた解答欄にマークしてください。3科目に解答した場合は0点となります。
6. 問題用紙の余白は計算に使用してもかまいませんが、解答用紙を汚してはいけません。
7. 試験開始後、問題用紙・解答用紙に落丁・損傷がないか確認してください。
8. 数学の問題の冒頭には「**解答上の注意**」が記入されていますので、必ず読んでから解答してください。
9. 試験終了後、問題用紙は持ち帰ってください。

日本史

1 古代から近現代にかけての戦乱や事件に関する次の文章を読み、下の問い（問1～9）に答えなさい。（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

日本史上で歴史を大きく動かした、あるいは節目となった戦乱や事件についてみていくと、まず古代では **ア** をあげることができる。この二つの出来事は、氏姓制度から律令制度への転換の契機となった。平安時代においては、9世紀の平城太上天皇の変から10世紀の安和の変を経て(a) 摂関政治が確立したのち、11世紀の後三条天皇即位を節目として院政期へ移行した。その後の保元の乱は武家が権力を握るきっかけとなり、やがて(b) 平氏政権を経て、源頼朝が武家政権を樹立した。

鎌倉時代には、(c) 承久の乱とモンゴル襲来という二つの大きな事件があった。室町時代には、初期に南北朝の動乱や観応の擾乱など、武家社会の変質を背景とした長期に及ぶ動乱が起こった。室町時代中期には、(d) 正長の徳政一揆など民衆が参加した動乱が政治に影響を与えるようになった。そして将軍が暗殺された嘉吉の変を経て応仁の乱が起こり、戦国の世となった。

各地に戦国大名が群雄割拠した戦国の世は、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の3人の天下人によって収束に向かった。徳川家康が権力を掌握する契機となったのが(e) 関ヶ原の戦いであり、徳川氏による支配の継続を決定づけたのは(f) 大坂の陣であった。以後200年以上にわたる江戸幕府の支配のもとでは大きな戦乱は起こらず、泰平の世が続いた。

19世紀半ばに大きく歴史が動き出すきっかけとなったのが、ペリー来航であった。その後、(g) 開国、幕末の動乱を経て江戸幕府が倒れ新政府が成立したが、権力交代の際には旧幕府軍と新政府軍との間で内戦が起こった。以後、新政府によって殖産興業・富国強兵をめざした改革が行われた一方、改革に不満を持つ勢力による反抗も起こったが、**イ** を最後に大規模な反乱はあとを絶った。

明治時代中期以降には対外戦争が相次ぎ、日本は日清戦争・日露戦争後に国際的地位を高めた。大正時代には第一次世界大戦に参戦し、戦後には五大連合国の一員として(h) 講和会議に参加した。昭和時代に入ると、中国をめぐる軍事行動が続き日中戦争が勃発した。日本の一連の軍事行動はアメリカとの対立を深め、最終的には第二次世界大戦の一環である太平洋戦争に突入した。

第二次世界大戦での敗戦は、明治以来の国家体制を大きく変えることになった。連合国軍による占領のもとで主権在民の新憲法が制定され、(i) 政治・社会の民主化が進められたことで、今日にいたる基本的な体制がつくられた。

問1 空欄 **ア** ・ **イ** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 **1**

- ① **ア** 乙巳の変と壬申の乱 **イ** 西南戦争
- ② **ア** 乙巳の変と壬申の乱 **イ** 戊辰戦争
- ③ **ア** 藤原広嗣の乱と恵美押勝の乱 **イ** 西南戦争
- ④ **ア** 藤原広嗣の乱と恵美押勝の乱 **イ** 戊辰戦争

問2 下線部(a)に関連して、摂関政治期の政治の動向などに関して述べた次の文**X**・**Y**について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。 **2**

X 摂関政治期には、国政に関わる重要な問題について協議するために陣定が開かれた。
Y 摂関政治期には、受領になることを希望する中・下級貴族はいなくなった。

- ① **X** 正 **Y** 正 ② **X** 正 **Y** 誤
- ③ **X** 誤 **Y** 正 ④ **X** 誤 **Y** 誤

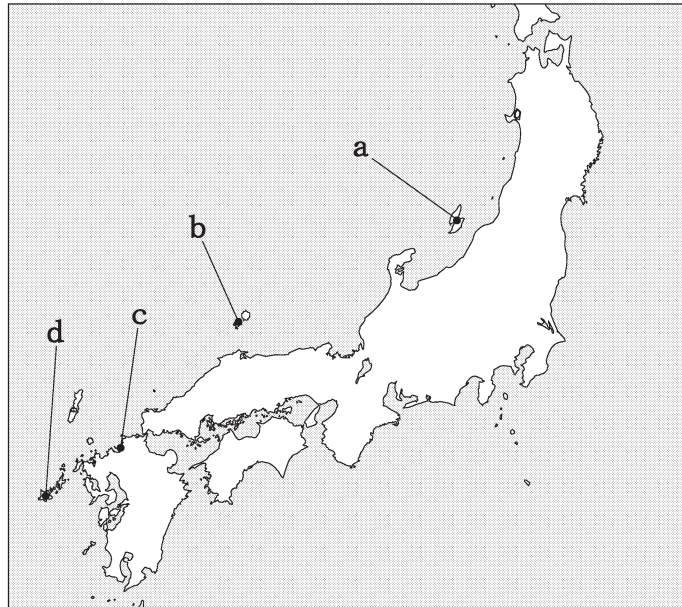
問3 下線部(b)に関して、平氏政権と源頼朝の政権で、ともに行われたこととして**適当でないもの**を、次の①～④の中から一つ選びなさい。 **3**

- ① 配下の武士を地頭に任命する。 ② 天皇家と姻戚関係を構築する。
- ③ 経済的基盤となる荘園を所有する。 ④ 朝廷から与えられた知行国を所有する。

問4 下線部(c)に関して述べた次の文X・Yと、下の地図上に示した位置a～dとの組合せとして最も適当なものを、あとの①～④の中から一つ選びなさい。 4

X 承久の乱後に、後鳥羽上皇はこの地に配流された。

Y モンゴル軍はこの地に上陸して、御家人を主体とした日本軍と戦った。



- ① X-a Y-c ② X-a Y-d
 ③ X-b Y-c ④ X-b Y-d

問5 下線部(d)について記した史料の一部として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 5

- ① 此たひはしめて出来れる足かるは、^(度)超過したる悪党也。
 ② 今日山城国人集会す。……同じく一国中の土民等群集す。
 ③ 凡そ土民、侍をして国中に在らしむべからざる所と云々。
 ④ 日本開^{かいてびやく}白以来、土民蜂起是れ初めなり。

問6 下線部(e)・下線部(f)について述べた文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④の中から一つ選びなさい。 6

- a 関ヶ原の戦いでは、西軍は毛利元就を盟主にして兵をあげた。
- b 関ヶ原の戦いでは、東軍に福島正則や黒田長政らが加わった。
- c 大坂の陣のきっかけとなったのは、京都方広寺の鐘銘であった。
- d 大坂の陣後、豊臣秀頼は一大名として領地を与えられた。

① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問7 下線部(g)に関連して、幕末の開国から明治新政府の成立にかけての出来事に関して述べた次の文 I～III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥の中から一つ選びなさい。 7

- I 長州藩の勢力が京都に攻め上ったものの敗れた、禁門の変が起こった。
- II イギリスの艦隊が薩摩藩と交戦した、薩英戦争が起こった。
- III 一橋派を弾圧した大老井伊直弼が暗殺された、桜田門外の変が起こった。

① I→II→III ② I→III→II ③ II→I→III
④ II→III→I ⑤ III→I→II ⑥ III→II→I

問8 下線部(h)の講和会議で決定された内容として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 8

- ① 国際連盟の設立 ② 人種差別撤廃の決議
- ③ シベリア出兵の開始 ④ 海軍主力艦の保有量の制限

問9 下線部(i)に関連して、第二次世界大戦後の占領期における民主化政策について述べた文として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 9

- ① 財閥解体が行われたが不徹底に終わり、4大財閥は残存した。
- ② 農地改革が行われたが不徹底に終わり、寄生地主の多くは残存した。
- ③ 労働者の団結権や争議権を認めた労働基準法が制定された。
- ④ 教育の機会均等などをうたった教育基本法が制定された。

2 中世の美術に関する次の文章を読み、空欄 10 ～ 18 に入る語句として最も適当なものを、それぞれの①～④の中から一つ選びなさい。

治承4(1180)年は激動の年であった。2月には平清盛の孫にあたる 10 〔①高倉天皇 ②安德天皇 ③後鳥羽天皇 ④後白河天皇〕が即位し、名実ともに平氏政権が確立したが、5月には以仁王と 11 〔①源義朝 ②源義仲 ③源頼義 ④源頼政〕が反平氏の挙兵を行い、平氏は翌6月福原遷都を強行した。以仁王は敗死したものの、その令旨を受けた各地の源氏勢力が挙兵し、源頼朝は鎌倉に本拠を定めた。10月には東下した平氏の軍勢が富士川の戦いで敗れた。同年12月、反平氏の姿勢を見せた 12 〔①法隆寺 ②薬師寺 ③延暦寺 ④興福寺〕を攻撃するため、平重衡に率いられた平氏軍が奈良に下ったが、戦闘のなかで 12 〔①法隆寺 ②薬師寺 ③延暦寺 ④興福寺〕・東大寺の大半が焼失した。この南都焼打ちは、結果的に中世の文化に大きな影響を与えることになった。

藤原氏の氏寺であった 12 〔①法隆寺 ②薬師寺 ③延暦寺 ④興福寺〕の再建は、藤原氏によって進められる一方、東大寺の再建は国家事業として朝廷によって進められ、その責任者である大勸進職には 13 〔①法然 ②一遍 ③重源 ④慈円〕が任じられた。13 〔①法然 ②一遍 ③重源 ④慈円〕は諸国をまわって寄付を集めるとともに、数度の渡宋経験や造寺経験を活かして宋の工人の協力を得て、東大寺の再建に取り組んだ。銅製の東大寺大仏とともに、木造の大仏殿・南大門の再建には大仏様の建築様式が用いられた。また東大寺などの奈良の諸寺の再建にもなって、多くの仏像彫刻が制作された。その中心となったのは、運慶をはじめとする奈良仏師であった。

鎌倉時代にも顕密仏教の大規模寺院の伽藍建築がさかんに行われたが、一方で鎌倉時代中期に執権政治を確立した北条時頼が、蘭溪道隆を招いて 14 〔①建長寺 ②円覚寺 ③寿福寺 ④極楽寺〕を創建するなど、鎌倉幕府によって臨済宗の大寺院が相次いでつくられた。この流れを引き継いだ室町幕府も京都に臨済宗の大寺院を造営し、 15 〔①建仁寺 ②鹿苑寺 ③本願寺 ④南禅寺〕を別格上位とする五山・十刹の制を設けた。

五山の臨済宗寺院には多くの僧侶が所属し、宗教活動とともにさまざまな文化活動を行った。禅宗では師僧の肖像画である 16 〔①来迎図 ②曼荼羅 ③頂相 ④蒔絵〕を崇拜する風習があったため、『瓢鮎図』を描いた如拙など、優れた技術を持った画僧があらわれた。

室町時代には、茶道・花道など今日に伝わる伝統文化が生まれた。畳を用いる住宅様式である 17 〔①書院造 ②数寄屋造 ③権現造 ④寝殿造〕もこの時代に成立した。また絵画では、のちに画壇の主流となる 18 〔①住吉派 ②狩野派 ③琳派 ④土佐派〕が、水墨画に大和絵の手法を取り入れた画風を工夫して幕府の御用絵師を務めるなど、以後の隆盛の基礎を築いた。

3 近世の交通・運輸などに関する次の文章を読み、下の問い（問1～9）に答えなさい。

江戸時代には陸上交通・海上交通がともに大きく発展した。陸上交通では、幕府によって江戸の日本橋を起点とした(a)五街道が整備されたほか、全国各地に要地を結ぶ街道が整備された。街道の宿駅には **ア** が置かれ、公用の旅行や物資運搬の便宜がはかられた。幕府は治安維持のために交通の要所に(b)関所を置くなど統制をはかった。

物資の大量輸送に適する水上交通では、(c)河川を利用した水運のほか、大型の船を利用してより大量の物資を運ぶことのできる海上交通が発達した。古代以来さかんであった瀬戸内海航路のほか、江戸の発展にともない、大坂・江戸間の(d)南海路の海運が発達した。また日本海を利用した海運では、中世以来、越前や若狭の港で荷を降ろし、(e)琵琶湖の水運を利用して京都に運んでいたが、17世紀後半に幕府の命を受けた河村瑞賢によって、本州西端を廻り関門海峡から瀬戸内海に入る航路が確立され、船で一気に大坂まで運ぶことができるようになった。さらに江戸時代中期以降には、(f)蝦夷地までも直結した海運が開かれた。

こうした交通の発達を背景に、全国的な商品・物資の流通がさかんになった。特に(g)大坂は物資の集散地として発展した。大坂に集まり取引・加工された商品の大半は、海運を利用して江戸へ運ばれた。大坂には商品を荷積みする問屋仲間の連合組織である **イ** がつくられ、流通の独占や海損の共同保障がはかられた。一方、全国最大の都市であった(h)江戸には、大坂以外の東日本各地からも商品が運び込まれ、江戸時代後期には江戸周辺の市場圏である「江戸地廻り経済圏」が形成された。

問1 空欄 **ア** ・ **イ** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 **19**

- ① **ア** 脇本陣 **イ** 十組問屋 ② **ア** 脇本陣 **イ** 二十四組問屋
③ **ア** 問屋場 **イ** 十組問屋 ④ **ア** 問屋場 **イ** 二十四組問屋

問2 下線部(a)について述べた次の文 **X** ・ **Y** について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。 **20**

X 中山道は、江戸から北陸地方を經由して上方と結ぶ街道であった。

Y 五街道を管理するために、道中奉行が置かれた。

- ① **X** 正 **Y** 正 ② **X** 正 **Y** 誤
③ **X** 誤 **Y** 正 ④ **X** 誤 **Y** 誤

問3 下線部(b)に関連して、関所について述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。 21

X 室町時代、幕府は関所を設け、通行税として段銭を徴収した。

Y 江戸時代、東海道には箱根や新居に関所があった。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問4 下線部(c)に関連して、江戸時代初期に富士川を整備し、また高瀬川などを開削して水路を開いた京都の豪商として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 22

① 角倉了以

② 本阿弥光悦

③ 茶屋四郎次郎

④ 末次平蔵

問5 下線部(d)に関して、南海路で運航した船について述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a・bとの組合せとして最も適当なものを、あとの①～④の中から一つ選びなさい。 23

X 江戸時代中期以降に、商品を輸送しながら各地に寄港して取引を行った。

Y 江戸時代中期に就航した酒荷専用船で、酒以外の商品も上積み荷物として安価で運送した。

a 北前船

b 樽廻船

① X-a

② X-b

③ Y-a

④ Y-b

問6 下線部(e)に関連して、中世に琵琶湖の水運を利用して運ばれてきた物資・商品を、大津・坂本などから京都へ運んだ運送業者として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 24

① 連雀商人

② 馬借

③ 日用稼ぎ

④ 問(問丸)

問7 下線部(f)に関連して、江戸時代に蝦夷地を支配した松前氏(藩)について述べた文として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 25

① 松前氏が徳川家康からアイヌとの交易独占権を与えられ、藩制をしいた。

② 松前藩では、初め場所請負制度がとられたが、のちに商場知行制に移行した。

③ 松前藩の支配に抵抗するコシャマインの戦いが起こった。

④ 松前氏は江戸時代を通じて、全蝦夷地を支配し続けた。

問8 下線部(g)に関して、江戸時代の大阪にあった卸売市場の所在地と商品との組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 26

- ① 堂島－青物 ② 雑喉場－魚 ③ 神田－青物 ④ 天満－魚

問9 下線部(h)に関して、江戸に設けられた施設について述べた文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④の中から一つ選びなさい。 27

- a 3代将軍徳川家光の時に、湯島聖堂が建設された。
- b 享保の改革時には、小石川養生所が設置された。
- c 田沼時代には、昌平坂学問所が設置された。
- d 寛政の改革時には、石川島に人足寄場が設置された。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

4 近現代の日米関係の歴史に関する次の文章を読み、下の問い（問1～9）に答えなさい。（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

19世紀中頃、太平洋地域に本格的に進出したアメリカは、アメリカ西海岸から中国への航路の寄港地として日本に目をつけ、1853年、アメリカ東インド艦隊司令長官ペリーが浦賀に来航して開国を要求し、翌年、老中首座の **ア** を中心とした幕府との間で日米和親条約が締結された。続いて、この条約にもとづいて赴任したアメリカ総領事のハリスとの交渉によって、1858年に(a) 日米修好通商条約が締結され、貿易が開始されることになった。

明治新政府はアメリカとの関係を重視し、(b) 岩倉使節団はまずアメリカを訪問した。アメリカも日本に対して好意的で、続く寺島宗則外務卿による条約改正交渉では、日本の求める関税自主権回復に応じた。また明治時代には、(c) 政府に招かれたお雇い外国人のほか、キリスト教の布教者などとして多くのアメリカ人が来日し、それぞれの分野で活躍した。

日清戦争・日露戦争において、アメリカは公式には中立の立場をとったが、日露戦争ではアメリカの実業家たちが日本の外債を引き受け、大統領の **イ** は日露講和の仲介を行った。戦争末期には、日米間で(d) アメリカのフィリピン統治と日本の韓国（大韓帝国）に対する指導権を相互に承認する協定（覚書）が交わされた。

しかしこの頃、(e) アメリカ西海岸地方での日本人移民の急増が反感を買ったことや、日露戦争の結果、日本が南満洲で獲得した権益の独占をはかったことなどから、日米関係は悪化していった。移民問題に関しては、日本はアメリカへの移民の送り出しを自主規制するなどしたが、のちに全面的に禁止された。(f) 1910年代以降の日米関係は、おもに中国・満洲をめぐる対立と妥協を繰り返しながら次第に対立を深めていった。

第二次世界大戦後には、日本は事実上アメリカの単独占領下に置かれ、アメリカの意向を反映した改革が行われた。(g) サンフランシスコ平和条約を締結して日本が独立を回復した後には、同日に締結された日米安全保障条約によってアメリカ軍の日本駐留が継続され、日本はアメリカの東アジアにおける友好国・同盟国として社会主義陣営と対峙する資本主義陣営の拠点と位置づけられた。日米安全保障条約はこの後、(h) 1960年の改定を経て現在まで存続しており、アメリカとの関係もさらに強化され、今日では日米同盟と呼ばれるようになっている。

問1 空欄 **ア** ・ **イ** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 **28**

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| ① ア 堀田正睦 | イ セオドア＝ローズヴェルト |
| ② ア 堀田正睦 | イ ウィルソン |
| ③ ア 阿部正弘 | イ セオドア＝ローズヴェルト |
| ④ ア 阿部正弘 | イ ウィルソン |

問6 下線部(e)の背景には、これ以前に日本人が多く移民していた国が19世紀末にアメリカに併合され、そこから西海岸地方へ多くの日本人が移住したことがあった。該当する国として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 33

- ① プエルトリコ ② フィリピン ③ キューバ ④ ハワイ

問7 下線部(f)に関連して、1910～30年代の日米関係に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥の中から一つ選びなさい。 34

- Ⅰ アメリカの呼びかけに応じて、海軍軍備制限などを協議する会議に日本も参加した。
Ⅱ アメリカは、日米通商航海条約の廃棄を日本に通告した。
Ⅲ 日本による中国への二十一カ条の要求の一部に対して、アメリカは反対した。

- ① Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ ② Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ ③ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
④ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ ⑤ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ ⑥ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

問8 下線部(g)の調印やこの条約をめぐる日本国内の動向に関して述べた文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④の中から一つ選びなさい。 35

- a ソ連は講和会議に出席したが、条約に調印しなかった。
b 中華民国は講和会議に出席し、条約に調印した。
c 日本国内では、全面講和論と単独講和論との間で論争が繰り広げられた。
d 自由民主党は、条約の批准をめぐる党内の対立が激化し分裂した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問9 下線部(h)に関して、この時に結ばれた新条約や、その批准をめぐる日本国内の動向などについて述べた文として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 36

- ① 鳩山一郎内閣によって、条約の改定交渉・調印が行われた。
② 従来明文化されていた、アメリカの日本防衛義務が削除された。
③ 政府・与党が衆議院で条約批准の採決を強行したため、反対運動が高揚した。
④ 反対のデモが連日起こったが、新条約の批准案は参議院で可決された。

(このページは、空白である。)